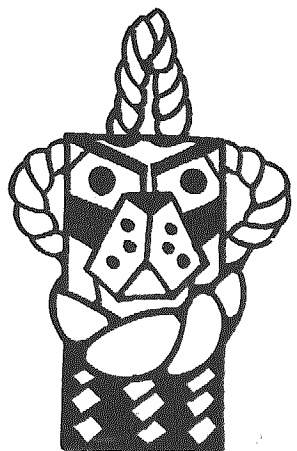


一九九四年

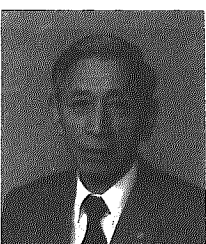
あけまして

おめでどうぶらぐれいします



ローマンと実行を求めて、ふるさとづくりに邁進

黒埼町長 浅妻 茂一郎



明けましておめでどうございます。

一九九四年の新春を寿ぎ、二万四千人町民各位の益々のご活躍とご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は町制施行二十周年の節目を迎えた年に当たり、町民各位のご理解とご協力を頂き各種の記念行事を実施させていただきました。又、過去二十年の足跡を振り返り、先輩が残された努力と業績に対し、新ためて感謝の誠を捧げると共に、未来に向って更なる発展を願うその決意を誓った意義ある年であったと思っております。

しかし、昨年は、北海道奥尻島の地震による津波災害、長雨によ

る冷水害、冷夏をはじめとする異常気象による凶作そして米不足という事態を生じ正に天災地変の年でありました。

そして一方では三十八年間も続いた自民党政権も終り、替って連合政権が誕生した政変の年でもありました。そして国内経済はバブルの崩壊後、一向に出口の見えない底なしの不況が続くなど、今だから経験したことのない歴史的にも大きな変化のあった年であったと思えます。

古老は天保七年以来と言われているおられます。これは今からおよそ約百七十年前のことではありますが昨年のような異常な年はめつたにな

て福と為す」

本年はどんなことがあっても皆さんで頑張つて良い年にしたいと思つたからであります。

当町にとりましては昨年十二月十九日に平成大橋が開通し今年の七月頃にはときめき橋の開通が予



英知を持ち寄り町おこし

黒埼町議会議長 江端 年一

新年おめでどうございます。町民各位におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今日、国の動向は、三十八年間続いた一政党政権時代が終わり、連立政権が誕生し、永年の課題である政治浄化のための選挙制度や国の許認可規制監督緩和の行政改革、或いは景気浮揚対策や高齢化社会に向けた、あるべき税制の抜本改正、又国際化が生んだ経済摩擦によるコメ市場開放や国際貢献で明け暮れました。

一方、地方の時代といわれて久しく、地方行政制度の見直し改革が、これまた大きな課題となっております。

二十一世紀に向けて、東京一極

定され高速交通の拠点としての優位性と位置付けの意義が一層高まりその果たす役割の重要性を認識しなければならぬと同時に、このような時こそローマンと実行を求めて発想新たに更なる努力を致しふるさとづくりに邁進したいと思

集中の是正と国土の均衡ある発展を図るため、国と地方の機能分担を見直し、中央省庁の権限を大幅に地方に移譲し、市町村の自主性、自立性の強化が図られるよう提唱されております。

言い換えれば、地方分権を推進し、地方自治を確立し、市町村の規模能力に依りて、事務権限を強化して、福祉・文化・教育・環境等、町づくりに関する国の権限を移譲し、住民の身近な行政が行い得る中核都市制度が検討されているのであります。

このような国の動向を背景として、本町も近隣市町村との機能分担や広域行政の施策などを懇談して、地方の時代に則った新潟圏域のそれぞれの都市づくりを話し

います。

「ふるさととは山青くして水清しやる気を起せば何んでもできる」

町民各位にとりまして良き年でありますようにご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

そこで、私は新年に当たり昨年の出来事を総称して次の句を読んでみました。

「天地・政経・禍 転 為 福  
：(天災地変政変不況・禍い転じ

合っているところであります。本町は県都新潟市の衛星都市として人口増加と企業進出が期待され、通勤通学、或いは公共文化コミュニティ施設への人や物の流通アクセスや情報交流アクセスの便利な地域として、脚光を浴びようとしております。

まさに、地方の時代に向けて、本町の役割は大きく、町民の寄せる期待にこたえるためには、町民各位とともに英知を持ち寄り、町の発展、町おこしに精進しなければならぬと思えます。

どうか今後とも、町議会に暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

# 平成6年を迎えて